

平成29年度 第8回 喜多方市立図書館 利用者懇談会 議事録

日時 : 平成29年11月25日(土) 12:30~14:20

場所 : 喜多方市立図書館2階 第2閲覧室

出席者 : 公募4名(一般)、文化課1名、図書館2名

配布資料 : ①『喜多方市立図書館利用案内』

②『図書館だより(ききみみずきん、わくわくとしょかんメール
平成29年度発行(春・夏・秋号)各1』

③『平成29年度喜多方市立図書館 主な催し物ポスター及び報告』

④『平成29年度喜多方市立図書館 広報活動及び読書推進事業実施計画』

⑤『平成29年度 利用者アンケートのご意見(抜粋)』

1. 開会

2. 主催者挨拶(喜多方市立図書館 館長)

3. 図書館担当課挨拶(教育委員会文化課 主査)

4. 議事(1) 喜多方市立図書館 現状報告

(2) ディスカッション

<テーマ>

- ① 図書館の催し物について
- ② 図書館広報紙の内容について
- ③ その他意見交換(ご意見ご要望等)

配布資料①~⑥を用いた現状報告を喜多方市立図書館より説明。図書館担当課より補足説明の後、各テーマについて意見交換を実施。

テーマ①図書館の催し物について ご質問・ご意見等

利用者A

先日行われた「読み聞かせ応援講習会」に参加し、ブックスタート等初めて知る事業についても学ぶことができ、勉強になった。また、様々な本の紹介を通して本の良さに触れ、楽しく学ぶことが出来た。

利用者 B

第8回の開催ということだが、長年利用しているものの、今回初めて開催していることを知った。催し物は、子供向けが多い印象があるが、近年人口割合を多く閉める高齢者をターゲットとした催し物をもっと多く開催することは出来ないか。社会教育課等でも催し物を実施している為、相互連携を図り、開催日のバッティングが起こらない様、実施して頂きたい。

利用者 C

普段利用していても高齢者の利用が多く感じる。自身でそろばんの講師をしており、催し物にあった「脳トレ」の講座の一つとして高齢者を対象に図書館でボランティアで実施していきたい。

利用者 B

参加者が少ない場合は開催が成立しないという問題があるが、その様な場が継続して設けられれば、高齢者の関心も深まると感じる。

文化課

次年度は「生活充実講座」の実施は見送り、図書館催し物を見直すこととなりました。その要因と致しましては、募集に対しての集客が全体を通して低く、企画・調整等の労力が集客に見合わない点から、次年度は見送りとなりました。指定管理となり、3年前までは利用者が緩やかに増加傾向にありましたが、現在は減少傾向となっている事から、次年度はより幅広い利用者への日常サービスの充実を行った上で、広報による利用者への情報周知へ注力し、催し物については原点に立ち返り、見直しの上実施してまいりたいと思います。

利用者 A

例として、「図書館の夕べ」は毎年どの程度の集客があるのか。また、イベント時の駐車場の問題はどのように対応しているのか。

図書館

「図書館の夕べ」に関しましては、スペース上の問題もございしますが、毎年50名以上の集客がございします。駐車場に関しましては、喜多方市立第一中学校様に駐車スペースの協力を頂き対応しております。イベントポスターへの注意書きやチケット配布時に利用者への協力依頼も行い、周知に努めております。

利用者 A

日常的に喜多方市立第一中学校様や生協様の駐車場を利用することは出来ないのか。イベント以外でも土日等駐車場が混雑していると利用がしづらく、来館に繋がらないのではないのか。

図書館 喜多方市立第一中学校様・生協様共に駐車するには、事前に申請書を提出する必要があります。日常的な利用は困難と認識しております。現状はイベント時のみ協力依頼を行い、対応してまいりたいと存じます。

文化課 「本の福袋」等、ニーズのある催し物は、年に一度に限らず年数回実施してみても良いのではないかと。アンケート結果でもご好評頂いており、生活充実講座開催休止による負担軽減分で準備等も可能になると感じる。

利用者 D 司書がどんな本を選んでくれたのかというワクワク感もあり、ニーズがあるのではと感じる。定期的な開催もニーズがあるのではないかと。

図書館 次年度は新たに「本のおみくじ」等も利用者の貸出促進を目的として実施を予定しております。今回のご意見も踏まえ、「本の福袋」の開催回数を増やせるかどうか検討してまいりたいと存じます。

テーマ②図書館広報紙の内容について ご質問・ご意見等

利用者 B 様々な催し物を実施している点は非常に感心するが、それらの情報を市民へ告知する点にもっと注力するべきではないかと。新刊図書等については市の広報で情報発信が出来るが、その他の催し物の情報発信に関しては、喜多方市立美術館が実施している様に、年間スケジュールのパンフレットを発行・作成し、全世帯へ配布してはどうか。1枚に情報が整理されており、発行回数も抑えられる。今後、担当課と相談し検討頂きたい。

文化課 広報面の強化は、今後の重要課題と認識しております。「わくわくとしょかんメール」に関しては、小学校全生徒へ配布を行っており、児童及びその保護者への情報提供は出来ているように感じております。一方、大人向け図書館広報紙「ききみみずきん」に関しては、公共施設等への設置に留まっており、情報提供の場が限られてしまっている現状でございます。しかしながら、広報規則の面から、市の広報と内容が重複する図書館広報紙は回覧が出来かねる可能性があり、市の広報紙の掲載スペースも限りがある為、十分な発信が困難な現状でございます。新聞への情報掲載等その他のツールでの広報も実施はしておりますが、成果がない点におきましても今後の課題と感じております。

利用者 B 市の広報紙は、お知らせ版も含め毎号同じ様な構成であることから、読み手によっては目を通さなくなっているのではないかと感じる。年 4 回の回覧が困難なのであれば、年間スケジュール等を作成し、年 1 回の回覧・配布を検討されてはどうか。

文化課 毎年 10・11 月頃に次年度の大まかな年間計画が決定する為、例として、3 月頃までに事業内容の日程等まで確定出来れば、4 月頃に年間スケジュールを配布することは可能と認識しております。

利用者 A 広報の手段として、ツイッター等 SNS を用いた広報活動を実施してはどうか。広報費の面や図書館利用の少ない若者世代への情報発信が可能となる点等メリットを感じる。

文化課 喜多方市立美術館ではフェイスブック等を運営しており、公式ホームページ上でフェイスブックに投稿した記事の閲覧が可能であり、企画展の告知だけでなく、展示物の搬入等バックヤードの様子も企画展期間の前後の様子も含め情報掲載を行っております。今年から喜多方市立美術館の公式ホームページがリニューアルし、SNS と連動した情報発信が可能となりました。図書館でも SNS を用いた各イベントの一連の流れを情報発信する等、イベント参加者以外の方にもリアルタイムで擬似的に体感して頂けるのではないかと考えられます。

利用者 A SNS はあくまでも広報の補助的な意味合いで用いるべきであり、正式には紙媒体での図書館広報紙は継続して発行すべきと考える。

利用者 C 「わくわくとしょかんメール」は学校で配布しているおかげもあり、児童が目を通し、図書館の情報も認知していることを実感している。

図書館 学校図書室には掲示用の広報紙カラー版も配布・掲示頂いており、情報発信が出来ていると感じておりますが、一方で大人向けの情報発信が課題と認識しており、様々な面で情報発信に力を入れてはおります。その一つとして、毎週火曜日 18 時から 15 分間 FM きたかたでラジオ番組を持っており、情報発信に努めてはおりますが、限られた時間帯でリスナーがどれほど存在するかは定かではございません。その他各催し物ごとに新聞社への

情報掲載及び取材依頼、各施設等へのポスター掲示依頼等様々な形で情報発信に努めておりますが、集客に結びついておらず、打開策についても皆様のご意見を賜りたく存じます。

利用者 C

ラジオ放送は毎週実施しているのか。

図書館

毎週放送を行っております。また、月に一度はスタッフが出演し、生放送でおすすめの本やイベント情報の発信等行っております。

利用者 D

ユニット折り紙教室開催時に、参加者へ図書館広報紙の最新号が完成した月に配布してはどうか。また、イベント告知も教室終了後等の時間を使って積極的に行うべきと感じる。

図書館

来月より、ぜひ実施してまいりたいと存じます。

利用者 A

一般向け広報紙内にある「編集後記」は作り手の顔が浮かび、親しみやすさや図書館運営に努力している背景をを感じる事が出来る。ぜひ、今後も続けて頂きたい。

利用者 A

「おすすめ図書ラインナップ」の面は、中々多くを読み込めない利用者にとって、情報が整理されており、借りる際の参考になっている。

図書館

今後も皆様のご参考となる様努めてまいります。また、本によっては新刊受入時にあそび紙へ帯貼りを行っており、借りる際の参考にして頂ければ幸いです。

利用者 C

広報紙のおすすめ図書紹介文について、本の内容紹介だけでなく、実際に読んだ感想やおすすめのポイント等も盛り込んで作成してみてもどうか。

利用者 D

書店にあるポップの様に司書のキャラクターを活用した広報を行っても良いのではないかと。各司書の個人的に好きな図書の紹介等も、なぜその本がおすすめなのかを含め、是非行って頂きたい。

図書館 これまでは、あまり個人の意見を出して利用者様に先入観を与えない様、心掛けてまいりましたが、今回の意見も踏まえ、スタッフに共有してまいりたいと存じます。

テーマ③その他意見交換 ご質問・ご意見等

利用者 C 喜多方市立図書館の建物自体はかなり古いものなのか？

文化課 喜多方市内の中でも厚生会館の次ぐらいに古いとされる建物です。

利用者 C 駐車場の問題等もある点から、建て替え等の計画はないのか。

文化課 公共施設のうち、老朽化が進行している施設の優先順位を現在付け始めた状況です。おそらく、図書館建て替えの優先順位は高いと考えられます。近年、修繕・改修費用も値上がりが見られる為、建物自体の建て替えも検討がなされると思われまます。

利用者 C 建て替えが決定した際には、駐車スペースの確保にも重きを置いて頂きたい。

文化課 現状、駐車スペースが不足しているのと合わせ、南側の駐車場は舗装工事がなされておらずご不便をお掛けしておりますが、現在、来年度予算での簡易舗装工事を実施する予定となっております。

利用者 B 喜多方市立図書館の老朽化と共に施設の利用頻度も考慮した上で計画を進めていく必要があると感じる。それらの結果によっては、別な方法での駐車スペースの確保等も検討すべきではないか。

文化課 現在の建物上、実質 2 階部まで図書館スペースが確保されておりますが、近年、バリアフリーの観点から 1 フロアのみ図書館も普及し始めており、喜多方市でも、今後検討がなされるに当たり、様々な面で考慮をしてまいりたいと考えております。

利用者 B 選書に関して、どの様な過程で行われているのか。図書館に相応しい図書の選定をして頂く事はもちろん、各分類のバランスや各世代のニーズに応じた

図書、その他書評等も考慮の上選定して頂きたい。また、辞書等の調べ学習に用いることの出来る資料に関しては、コンパクトなものではなく、個人では購入しにくい机上版で所蔵すべきと感じる。合わせて、学生も調べ学習に利用出来る様しっかりした内容の資料を選書頂きたい。

図書館

選書に関しては、司書資格を保持しているスタッフが行っております。利用者の皆様からは、読みもののご要望を多く頂いておりますが、限られた予算の中で各分類のバランスを考慮し、調べものに役立つ資料の購入も心掛けております。読みものは各受賞作品はもちろん、リクエスト等検討の後出来る限り購入を心掛けております。

利用者 B

書庫保管の資料が多い様だが、もう少し開架へ閲覧することは出来ないか。検索し、スタッフへ書庫出納を依頼すればよいのは認識しているが、高齢者世代にとっては、自身で書庫に入り、昔手に取った資料等を探したいという要望がある。しかしながら、紛失・盗難等の課題もあると認識しており、実際に喜多方市立図書館でも発生した事例等はあるのか。

図書館

書庫を封鎖する以前は、その様な事実がございました。

利用者 B

防犯カメラの設置は検討していないのか。発生件数が多い様だと検討してみてはどうか。

図書館

現時点で防犯カメラ等の導入は行ってはおりませんが、図書館は市民の皆様の大切な財産をお預かりしておりますので、今後の動向も見守りつつ検討して参ります。

利用者 D

福島に縁のある作者の作品は「郷土」へ分類されるようだが、全国区の作者が福島を舞台にして書いた作品は「郷土」には分類されていない為、フューチャーされていない。しかしながら、「郷土」への分類変更は混乱を招く恐れがある為、福島が題材になっている作品を集めたコーナーを作成し利用者の関心を高めることで貸出促進に繋がるのではないかと存じます。

図書館

毎月テーマを変えた「特集展示コーナー」がございますので、テーマとして参考にさせて頂きたいと存じます。

利用者 C 「瓜生岩子」を描いた紙芝居は所蔵しているか。紙芝居が存在すると聞いたことがあり、購入が可能なものならば、是非所蔵して頂きたい。

図書館 紙芝居を自作で作成しているボランティア団体さんもおおり、流通しているのかを確認の上、可能な場合は購入を検討してまいりたいと存じます。

利用者 B 市民として、郷土資料の図書館寄贈や対するリクエストサービスなど図書館との関わりを持つことで、市民全体でのより良い図書館づくりに励んでいきたい。

利用者 A 職員で研修を兼ねた他館の視察旅行等を実施してみてもどうか。米沢市や多賀城市等、近県の図書館でも魅力の多い施設も多く参考になるのではないかと。

図書館 近年、どの施設も新しい設備が整っており、現図書館への反映が難しい点も多くありますが、その中でも他館の視察を通してより良い運用等参考にしていきたいと考えております。また、TRC が指定管理している県外図書館の応援要請時には、応援業務を通して参考となる運用等は反映出来る様心掛けております。

利用者 B 3階部分は本庁へ移転したのか。郷土民俗館と同様の施設は、合併後、様々な箇所に存在し、統合の必要性があると感じる。統合により確保できるスペースを図書館の資料スペースとして利用する等検討して頂きたい。

文化課 現在、3階は郷土民俗館があり、図書館開館日に開放しております。合併により民具の重複等がみられ、展示だけでなく体験学習への利用等含め検討議題となっております。今後統合等を含め協議して参りたいと思います。

5. 閉会